

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1

Tel. 03-5378-6311 Fax. 03-5378-6161 <http://www.japanphil.or.jp/> E-mail:office@japanphil.or.jp

日本・フィンランド外交関係樹立 100 周年記念公演

2019 年はフィンランド・日本の間における外交関係樹立 100 周年のアニヴァーサリーイヤーです。これを記念して東京定期演奏会では、日本人作曲家・湯浅譲二によるヘルシンキ・フィル委嘱作品「シベリウス讃〜ミッドナイト・サン」、現代フィンランドを代表する作曲家であり指揮者であるサロネンのヴァイオリン協奏曲、そして後半はシベリウスのレンミンカイネン組曲を演奏いたします。

フィンランドが生んだ大作曲家へのリスペクトとこの国の自然への憧憬を込めて書かれた湯浅作品。インキネンが日本フィルと取り組む初めての邦人作品となります。サロネンのコンチェルトは 2009 年に世界初演された、まさに「現代の音楽」。しかし一般的な現代音楽とはことなり、アグレッシヴかつ超絶テクニックを求めるこの作品は、現代の聴き手を魅了する底知れぬインパクトを含んでいます。ソリストには久しぶりの日本フィルとの共演となる諏訪内晶子が登場。スポーティでアクロバティックなサロネン作品を、冴えわたる彼女のヴァイオリンがどのようにドライブするのか、非常に楽しみです。そして最後に演奏されるのがシベリウス《レンミンカイネン組曲》。フィンランドに伝わる神話を元に書かれたこの作品は、7 曲ある交響曲（クレルヴォ交響曲を除く）以上に重厚長大な音楽です。長年シベリウス（とワーグナー！）で演奏実績を重ねてきたインキネン&日本フィルならではの深い響きに包まれてください。

横浜定期演奏会はオール・シベリウス・プログラム。交響曲第 5 番はシベリウス自身の 50 歳を祝う祝典のために書かれた壮年期の楽曲で、フィンランドの自然と誇り高き精神を描いた、まさに記念事業にこそ演奏されるべき傑作です。ソリストにはフィンランドの個性派ヴァイオリニスト、ペッカ・クーシストを迎えます。フィンランド人として初のシベリウス国際ヴァイオリンコンクールの優勝者となり、その後も活躍のフィールドを拡げる彼とインキネンが繰り広げる“真のフィンランドの魂の音”にどうぞご期待ください。

名曲コンサートは、【日本・フィンランド外交樹立 100 周年記念公演】の最後を締めくくるメイン・プログラムです。前半は横浜定期演奏会と同じく、フィンランディアと、ソリストにペッカ・クーシストを迎えてのシベリウスヴァイオリン協奏曲。そして後半はドヴォルジャークの《新世界より》を演奏いたします。プラハ交響楽団の首席指揮者を務めるインキネンならではの、門出を祝うに相応しいシンフォニーです。

《フィンランド・日本外交関係樹立 100 周年記念演奏会》

6月7日（金）&8日（土） サントリーホール 第711回東京定期演奏会

湯浅譲二：シベリウス讃 ―ミッドナイト・サン

サロネン：ヴァイオリン協奏曲（ヴァイオリン：諏訪内晶子）

シベリウス：組曲《レンミンカイネン》―4つの伝説

6月15日（土） 横浜みなとみらいホール 第348回横浜定期演奏会

シベリウス：交響詩《フィンランディア》

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲（ヴァイオリン：ペッカ・クーシスト）

シベリウス：交響曲第5番

6月16日（日） サントリーホール 第381回名曲コンサート

シベリウス：交響詩《フィンランディア》

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲（ヴァイオリン：ペッカ・クーシスト）

ドヴォルジャーク：交響曲第9番《新世界より》

